

「ドンドン語ろう！in河内」 平成30年2月15日 河内公民館 意見交換内容 参加者：106名

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>(1) みかん産業について 経済があるから、そこに人がいる。みかん産業の支部としてこの地域を維持することが重要と考えている。 みかん産業全体をみわたすと、全国で370万トン生産していた時代から今年は70万トンまで減り、主産地のリーダーと話しても、「50万トンまで減らしてはいけないと話しており、それが自分達リーダーの課題だと思っている。」と言われた。現状は、高齢化が進んで担い手がいなくなっている。 しかし、この地域は、平均80歳くらいまで現役で畑を荒らさずにがんばっており、若い人たちが確実に育っている。産業として続けていくことができると確信している。 そのような中であって、代々継承している、昔からの田や段畑をいかに維持するか、新しい担い手を一人の農業者としていかにして独り立ちさせるか、課題はあるので、現在も行政と一緒にさまざまに相談しながらやっているが、今後も困ったことがあれば相談しながらがんばっていききたい。産地を残すためにはどうすればよいか、一緒に考えていただければと思う。</p>	<p>【市長】 河内は、みかんの産地である。生産量が減少している中で、産地を残すためにはどうすべきか一緒に考えてほしいとのご要望である。</p> <p>【農水局局长】 全国のみかん産地を見ても、園地がしっかり残っていて後継者がいるのは、わずか5つ程であり、日ごろからの努力に敬意を表したい。 2000箇所の園地崩れがあったにもかかわらず、河内のみかん産地はまとまっていて400人の部会員の方と手を携えて復興を進めておられる。 現在の取組みも聞いており、市側でも、みかんの「日本一産地プロジェクト」として取組みを進めている。後継者についても国の事業を活用しながら、農協を含め関係機関、新しく入る方、雇用される方とウィンウィンの関係になるようさまざまな取組みをしていきたいと考えている。 その中でも特に、段畑については、国の事業を活用しながら30年度の新規事業も含めて、一緒に考えて前に進んでいきたい。</p> <p>【市長】 詳細は、農水局、西区農業振興課と話していただけたらと思う。 河内は、農業だけでなく水産業も盛んだ。生産地は熊本の経済力を高める所だ。政令指定都市の中ではトップクラスの農林水産業の生産額を誇る地域である。新規の企業誘致も大事だが、今ある第一次産業を活かしてどう伸ばすのかは大事だ。河内みかんや海苔などをPRして全国の皆さんに知っていただき、より高く買っていただく。一次産業の新しい担い手とそのノウハウを継承し熊本の基幹産業として発展できるよう、市としても重点項目として全力を挙げて取り組みたい。</p>	農水局	農業支援課

「ドンドン語ろう！ in河内」 平成30年2月15日 河内公民館 意見交換内容 参加者：106名

No.	ご意見	回答	局	担当課
2	<p>(1) 国道501号と市道の交差点の道路整備について 国道501号は、交通量が多く、また、そこに交わる市道（河内校区9、10町内に通じる市道）の幅員が狭いうえに交差点付近（潮崎石油前）が急カーブとなっているため見通しも悪く、大変危険である。交通事故、死亡事故も発生している。 道路の拡張整備をお願いしたい。</p>	<p>【西部土木センター所長】 国道501号沿いの潮崎石油前交差点付近には小川内バス停もあり、市道拡幅の要望書を平成29年9月にいただいている。現場を見たが、カーブが急なところに市道（船津野出第1号線）が交わっている状況であり、カーブミラーがあるもの見えにくい状況かと思う。 どう拡幅するかを検討する際に、一つには、一般的には土地を寄付（提供）してもらい拡幅する方法がある。しかし、ここには両側に家があるので用地買収が絡む。 このような場合、本市は、ホームページにも掲載があるように、「道路整備プログラム」を作成し、事業効果の高い路線から優先的に整備時期の位置づけを行い、実施している。 ご要望の箇所を整備するとなれば、まず、現在の状況や危険箇所の調査、測量等を行い、この「道路整備プログラム」へ掲載し、位置付けするところから始めることになる。どのような問題・状況があるか、交通量、歩行者の量などのカルテを作り、検討していくことになるが、これは長期的な話になってくる。 そこで、長期的な検討と並行して、短期的にできることがないか、交通安全対策の面からほかの有効な手立てがないかも考えていきたい。</p> <p>【市長】 現場からの報告を、まず話してもらった。今後は現状を把握し、「道路整備プログラム」への位置付けをしていきたい。</p> <p>-----</p> <p>【西部土木センター道路課 追記】 ・平成30年度は道路整備プログラム見直し作業をしており、事業実施の可能性について検討していきたい。 ・短期的にできる交通安全対策について地元、交通管理者等を交え検討していきたい。</p>	都市建設局	西部土木センター

「ドンドン語ろう！ in河内」 平成30年2月15日 河内公民館 意見交換内容 参加者：106名

No.	ご意見	回答	局	担当課
3	<p>(1) 県道1号線改良工事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道1号線の拡幅工事を一日も早く完了してほしい。 ・大型バスと路線バスが離合できずに何十年も困っている。道路の維持管理が県から市へ委譲されたと思うがなぜ工事が進まないのか。 ・西回りバイパスと北バイパスが整備されているようだが、どの地点で県道1号線とつながるのか。 ・県道1号線は、熊本地震の直後には501号線の大渋滞を受けて、玉名方面から熊本への抜け道として利用されていた。災害緊急時の生命線として、県道1号は大変重要な道路である。用地買収などの問題も多いと思うが整備を急いでほしい。 	<p>【市長】 県道1号の拡張工事については、私が県議会議員だったところからの要望箇所だ。政令指定都市になって国県道の管理や整備が一部を除いて本市がすることになった。予算の問題もあるが、全体の道路整備をどうやって進めるのか庁内で検討し、国へも要望してきたところだ。 熊本地震を経験し、道路は命の道路であると、改めて強く認識した。物資を運び人の命を運ぶという意味でいかに重要かを身に沁みてわかった。501号、県道1号もそうである。 そこで、道路については、国への要望をかなりやってきた。その中で、県道1号に関しては、国の平成29年度補正予算の内示で大きく予算をつけていただくことになった。今後、県道1号線の整備を積極的に行っていく予定である。地震関係の工事もあり、人手不足による遅れも生じるかもしれないが、できる限り急いでやりたい。当初5年としていた計画も、少し早められるかもしれない。</p> <p>【西部土木センター所長】 県道1号（主要地方道熊本玉名線）については、峠の茶屋から椎亀公民館前1800メートルを県から委譲され事業を進めており、現在、椎亀公民館前の改良工事を行っている。今回、国からの補正予算が多くついたので、峠の茶屋付近の区間420メートルは下の部分で擁壁工事をしたが追加発注し工事完成までもっていきたい。一年後の春には椎亀公民館側及び峠の茶屋側の二つの区間を使っただけのようになればと思っている。</p> <p>-----</p> <p>【西部土木センター道路課 追記】 峠の茶屋側擁壁工事 平成30年度施工中 峠の茶屋側舗装工事 平成30年度施工予定 椎亀公民館側舗装工事 平成30年度施工予定</p>	都市建設局	道路整備課 西部土木センター
		<p>【西部土木センター所長】 次に、熊本西環状道路については、国道3号四方寄交差点から花園インターを経て池上インターまで事業を進めている。平成29年3月に、国道3号北部まちづくりセンター手前から柿原団地、崇城大学前までの区間が開通した。花園インターから池上インターまでの区間は自動車専用道路になる（平成30年代半ばに完成予定）。 県道1号と交差させてはいかがかとのご提案だが、交差箇所は地形に大きな高低差があり、トンネルも掘りあがっているため、非常に難しい。 しかし、熊本駅方面や植木方面のアクセスについては、本妙寺の仁王門のところで都市計画道路（花園池亀線）が熊本玉名線と交差するので、そこを通じて熊本駅方面には西回りバイパス（野口清水線）へとつながるので、熊本駅方面へ行けることになる。 本市の骨格となる外側の西環状道路、内側を形成する環状道路や都市計画道路を一体となって整備しているので、ご利用いただきたい。</p>	都市建設局	道路整備課 北部土木センター 西部土木センター

「ドンドン語ろう！ in河内」 平成30年2月15日 河内公民館 意見交換内容 参加者：106名

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>(2) 荒廃田畑・果樹園の「予備畑」としての再生・維持について 河内地域や県道1号沿いで見かける耕作放棄された田畑やみかん畑は、このままでは修復困難な状況になるのではないかと思う。 これらを農地やみかん畑として本格的に経営再開することは困難かもしれないが、本格再開前の「予備畑」として地域（高齢者、子ども、女性など）に開放し、地域貢献や自家消費用の野菜作りなどの名目で、荒廃畑を再生維持させてはいかがか。損壊したまま放置されてしまうことを防ぐことができ、景観も維持できる。 この事業への補助金制度も検討してほしい。多くの波及効果が期待できる。</p>	<p>【農業委員会事務局長】 遊休農地改修については、農業委員会と一緒に取り組ませていただいている。年に数回パトロールを実施し、荒れた農地については、所有者の方をお願いして自己保全管理いただく。自分で管理できないときは、農地を借りる方を関係者の方と一緒に探している。しかし場所によっては相手が見つからず厳しいところもある。補助事業費を使って耕作放棄地を解消しようとしても残ってしまうのが現状である。ご意見にあるように、そのまま残していくと環境に悪い影響が出てくるのが問題となっている。 まちづくりの関係者と一緒になって、非農地を非農業的な利活用がどのようにできるかを考えていただければ、非常にありがたい。平成30年度以降に、農業委員のほかに農地改修を目指す「最適化推進委員」という制度が設置される。その方と一緒に、地域の皆様と話し合いながら解決できればと思っている。</p> <p>【市長】 耕作放棄地についても取り組んでいきたい。</p>	農業委員会	農業委員会事務局
3	<p>(3) 空き家の再利用について 芳野校区に引っ越したいと家を探している人がいる。空き家を再利用してもらえようをお願いしたい。</p>	<p>【市長】 空き家対策については、河内や芳野だけでなく、熊本市全域にわたって問題がある。また、所有者不明の土地が問題になっており、国会でその問題が審議されているところでもある。 平成30年度は空き家の利活用などを盛り込んだ空家等対策計画の策定を建築指導課及び建築政策課で行う。</p> <p>-----</p> <p>【西区総務企画課 追記】 平成27年度に芳野校区の空き家などの調査を地域住民が中心となって実施。平成28年度、29年度は特段進展はなかったが、今年度は改めて空き家を再調査し、地域をサポートしながら活用方法等を検討していく。また、国の動向なども注視し、関連セクションとも連携しながら対応してまいりたい。</p>	都市建設局 西区役所	建築指導課 建築政策課 総務企画課
	<p>(4) 芳野校区の交通手段について 芳野校区のものは交通弱者である。西区役所に行く交通の手段がない。道がすべてのものをつなぐと思っている。県道1号をなんとかしてほしい。</p>	<p>【市長】 河内・芳野校区は交通が非常に不便であるとのことをご意見をいただいた。市内には、ほかにも、バスなど公共交通の確保ができないところがある。交通網の再編やデマンドタクシーの導入など、さまざまな取組を進めているところである。道路の整備も合わせて検討し、自動運転、EVバスの試験も行われているので、これもあわせて検討していきたい。</p>	都市建設局	交通政策課

「ドンドン語ろう！ in河内」 平成30年2月15日 河内公民館 意見交換内容 参加者：106名

No.	ご意見	回答	局	担当課
4	<p>(1) 金峰山の道路整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金峰山の鳥居から山頂までの車道で、イノシンが土手を掘り返すことによる落石で危険な箇所がある。法面保護などの整備をお願いしたい。土日祝日等は、多くの登山者がいるので、よろしく願います。 ・花園から峠の茶屋までの県道1号は、夏場は草が生い茂ってカーブも多いため見通しが悪く危険である。カーブになっている箇所の草刈をお願いしたい。 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見の道路については、市道でもあるが、九州森林管理局の管理する金峰山林道との併用林道となっている。法面は、市道管理区域外の国有林にあたるので、九州森林管理局熊本森林管理署と、地元の方と協議していきたい。土砂崩落等の対策は必要だ。 ・草刈については、市内全域で同様の状況にある。地震が起きたことでなかなか行き届かなかったこともあった。 6月中旬に路線全体の除草、9月中旬に視界が悪い箇所を中心に除草をしていた。平成30年度から業者数や路線の除草計画等を見直すことにしており、6月と9月に路線全体の除草を行う予定である。タイミングを考えながら必要に応じて行っていきたい。 <p>-----</p> <p>【西部土木センター河内分室 追記】</p> <p>当該路線は、現在、重点的に道路パトロールを実施し落石除去や雑草等による視認不良箇所の除草作業等を実施しております。</p> <p>ご意見である法面保護の整備に対しては、市道管理区域外であるため九州森林管理局と協議を行いながら対応していきたい。</p>	都市建設局	西部土木センター河内分室 西部土木センター道路課
5	<p>(1) 家庭ごみの収集運搬業務委託に関する入札について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、河内校区婦人会の中で環境部会として平成9年に発足した「せせらぎの会」である。平成6年から1日1人100グラムの生ごみ減量から環境活動が始まり、平成7年度から夏場水路から上がってくる悪臭対策としてEMの活性液を配布したりなど、活動し地域に貢献してきた。 ・熊本市の委託業務入札は、金額のみで業者が決定されているようだ。地域への貢献なども評価に加えた方法にならないか。河内町のごみ収集業務も金額だけで業者が決定されているようだ。 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ収集や減量に親身に取り組んでいただいているということで、地域の力が環境問題に素晴らしい影響を与えているのではないかと思います。ごみの減量化においても地域の力と組織のつながりは大変大事である。皆さんの活動と市がつながっていけるようにしたい。 <p>【環境局部長】</p> <p>せせらぎの会の皆様には、コンポストのサポート運動や透明ごみ袋化の際に、全面的にご協力いただいた。地域の力がとても強く、行政からのお願いばかりでなく、ご自身たちで行った活動を行政に報告いただいたり、提案をいただいたりしている。感謝申し上げます。</p> <p>業者の入札についてであるが、家庭ごみの収集は、市から委託をする際、収集の場所・経路・時間帯・車両数・人員などを仕様書に規定している。</p> <p>ごみを燃やす環境工場を整備する場合には、業者によって技術面や創意工夫の面で相当程度の差異が生じ、総合評価で大きな差が出るが、ごみ収集委託に関しては、収集の場所、経路、車両数や人員などが仕様書で定められており、技術や創意工夫により業務の成果に相当程度の差異が生ずるとは言い難いことから、一般競争入札としている。</p>	環境局	廃棄物計画課

「ドンドン語ろう！ in河内」 平成30年2月15日 河内公民館 意見交換内容 参加者：106名

No.	ご意見	回答	局	担当課
6	<p>(1) 有害鳥獣駆除について 平成28年度から熊本市が行っている有害鳥獣駆除隊に関する公募についての要望である。 「熊本市農畜産物有害鳥獣駆除隊の公募に関する要綱」第2条にある、西区で一つの団体という規定を変更してほしい。</p>	<p>【市長】 有害鳥獣駆除に関しては、現在、市内を3地区に分け駆除隊を公募しており、平成29年3月から駆除隊を選定している。これは公募の要綱でルールを決めており、ご理解いただきたい。</p> <p>【農水局局长】 熊本市の場合、全国的にも珍しいことだがハンターが多い。さまざまな団体がいる中で一律に捕獲をしていただくということで公募している。富合城南、植木、それ以外の3地区に分けている。ハンターの方々と話をまとめていただくことが必要であろうかと思うので、ご検討いただければと思う。</p>	農水局	農業支援課 (鳥獣対策室)
	<p>(1) 河内地域の下水道整備について ・上下水道の整備をお願いします。 ・河内校区第5町内には、熊本市の熊本水遺産に登録されている「鑪水(たたらみず)」公園(湧水池)がある。その水源の脇から1キロメートルにわたり水が有明海に流れ込んでいる。昔から、生活排水こそ流しているが、下水道関係は禁止されている。上下水道の整備をお願いします。</p>	<p>【市長】 上下水道の整備については、未整備のところを進めていかなければならないが、将来は人口減少により負担増が見込まれるため、皆さんに負担がかからないように早くできる方法を考えながら、全体計画の見直し検討を行っていく。 たとえば合併浄化槽補助を活用するなど、効果的で負担がかからない方法を検討していく。新年度になったら、現状の説明や計画の見直し案などの説明会をひらきたい。</p>	上下水道局	計画調整課
7	<p>(2) 河内地域の災害時避難道の整備について ・熊本地震から1年10ヶ月が経った。復旧・復興は始まったばかりだ。中央区や益城町、阿蘇地域に比べれば、西区河内地域は被害が少なくすんだと思うが、住民は地震に対し不安に思っている。 ・本震の際には、津波注意報がでて大変に込み合い大騒ぎだった。河内の高台といえはみかん山があるが、避難区域の河内第5・6・7・8・9・11町内はとても心配している。 第5町内としては、10年前に市からの助成(1/2)をいただきみかん山に通じる里道をコンクリートにし、自主避難道として利用している。コンクリートにしたことにより、大雨のときに滝のような水が流れ込んでくる。そこで、道路の拡張、治水、または新たな道路の建設をお願いしたい。 この避難道は、小学校、中学校から一番近い避難道であり、200名以上の子ども命を守ることになる。ぜひとも整備または建設をお願いします。</p>	<p>【市長】 地震の際には、大変に混乱されたということを知っている。河内校区では、事前に避難経路を定めて周知されていたとのことだが、反対側からの車両が進入するなど山道で混乱があったとうかがった。 道路については今すぐの計画ではないが、今後のつなぎの対策として、住民の皆様が安全で速やかに避難できる対策を早急に考えていかなければならないと市も思っている。 ハード面の整備はすぐには進まないで、まずは、人の力でできるソフト面での強化に努めたい。例えば防災行政無線を活用した情報提供をより丁寧に行うよう努め、防災訓練などを通していざというときに冷静に行動していただけるよう、啓発活動などに、積極的に取り組んでいきたい。</p>	政策局	危機管理防災総室

「ドンドン語ろう！in河内」 平成30年2月15日 河内公民館 意見交換内容 参加者：106名

No.	ご意見	回答	局	担当課
8	<p>(1) 市道管理の助成について 私たちは、6、9月に、市道の管理ということで、草刈や土砂の撤去を行っている。特に、土砂の撤去作業については、以前は人力でやっていたが、部落の高齢化が進み、昨年は重機を個人から借りて実施した。費用もかかるので助成してほしい。</p>	<p>【市長】 地域で地域のことをやっていたらということ、市としても大変ありがたく、助かっている。土砂の撤去でご苦労がされているということなので、事前に西部土木センター河内分室へ相談いただきたい。</p> <p>【西部土木センター所長】 ご相談いただければ、対応したい。</p> <p>-----</p> <p>【西部土木センター河内分室 追記】 地元自治会等にて身近な道路の除草や土砂撤去等の維持管理に対しては市としても感謝しており、今後とも地元をお願いできる箇所についてはご協力をお願いしたい。しかしながら、地元で対応できないような重機作業や安全性が確保できないような維持管理作業に対しては、事前に相談頂ければ西部土木センター河内分室にて対応できるため連絡をお願いしたい。</p>	都市建設局	西部土木センター河内分室
	<p>(2) お見合いイベントについて 後継者の嫁不足ということで、テレビでは行政主導の大々的なお見合いイベントを見るが、そのようなイベントをしてほしい。</p>	<p>【市長】 婚活イベントについては、「ドンドン語ろう！」でどこに行っても提案がある。結婚応援団体と結婚世話人との連携などさまざまに支援をおこなっているところである。 出会いにしても、結婚観の相違にしても、情報がありそうで実はしっかりとマッチングができていないということが現状なのではないかと思う。イベントをしたとしてもすぐにカップルが誕生してすぐ結婚とは行かないだろうが、まずはきっかけを作ることが大事だろうと思う。行政としても取り組んでいきたいと思う。 河内は、テレビで取り上げられるような過疎地ではなく、若い後継者も多く、アクセスがいい地域なので、多くの皆さんに多くのきっかけができればと思う。</p>	健康福祉局	子ども政策課